



区長コラム ずっともっとめぐろ

目黒区長 青木英二

皆さん、こんにちは。区長の青木英二です。
 本稿執筆時点では、沖縄や奄美地方など、徐々に梅雨入りの便りが入ってくるようになりました。このような季節を迎える中、6月1日号の特集は、「風水害対策」です。
 区は総合水防訓練を先月15日に中目黒公園で実施したところですが、特集では「内水氾濫」というキーワードについて説明をしています。
 近年、地球温暖化の進行を受け、集中豪雨や局地的大雨(ゲリラ豪雨)などによって、目黒川流域に限らず都市型水害のリスクが高まってきています。防災対策は、日頃からの備えが欠かせません。ぜひ、記事をご覧ください、さらに水害ハザードマップや防災チェックリストなども活用しながら、ご自身・ご家庭での備えをよろしくお願いたします。
 また、こちらも7面で言及していますが、6月は環境月間です。区は、2050年にゼロカーボンシティを実現することを目指しています。3年5月に改正された地球温暖化対策推進法では、2050年までの脱炭素社会の実現が明記されているほか、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)では、産業革命前からの世界の平均気温上昇を、1.5度に抑えることを世界共通の長期目標としていま

す。こういった大きな背景があることも念頭に置きつつ、まずは身の回りのできる環境対策を一つ一つ実践していただければと思います。
 今年の夏は、電力需給のひっ迫も心配されています。思い起こせば今年の3月、東京電力および東北電力管内において、電力需給のひっ迫警報が出されました。現在、都が家庭の電力使用量に見合った契約アンペアへの見直しを求めるなど、節電、省エネが大きな課題となってきています。
 節電は、ロシアによるウクライナ侵攻など、さまざまな国際情勢の影響によるエネルギー価格の高騰に対する家計防衛の一面も持ちます。本格的な夏を迎える前に、節電や省エネにつきましても、今一度ご検討いただきたいと思います。
 最後になりますが、新型コロナワクチンの4回目接種のご案内です。60歳以上のかたには、申請いただかなくても順次、接種券をお送りしていきます。18歳以上59歳以下のかたで、基礎疾患があるかたや、重症化リスクが高いと医師が認めるかたが接種をご希望される場合は、接種券の発行申請が必要となります。ワクチン接種に関する最新情報や、詳細につきましては、区のホームページなどでご確認ください。

LGBT相談を 実施しています

個人権政策課男女平等センター係
 (☎5721-8570、☎5721-8574)

無料

匿名可

秘密
厳守

性的指向や性自認に関するさまざまな困難や不安について、専門相談員が話を伺います。パートナーや家族・友人との関係、職場や学校でのことなど、本人のほか、家族や友人、支援者からの相談もお受けします。

このようなお悩みはありませんか

- 同性が好きかもしれない
- 戸籍上の性別に違和感がある
- 自身の性自認に合った服装をしたい
- 子どもが性別に違和感があり、悩んでいる
- 本人から打ち明けられたが、どうしてよいか分からない

時毎月第3土曜日14:00~17:00(1人30分程度)
 専用電話 ☎5721-8583

映画「カランコエの花」とミニトーク

LGBTが抱える問題を、当事者ではなく周囲の人々の目線から描いた短編作品を上映します。鑑賞後、映画の感想や日頃感じていることなどを気軽に話してみませんか。

時6/18(土)10:00~12:00

場男女平等・共同参画センター(中目黒2-10-13 中目黒スクエア内)

師NPO法人共生社会をつくる性的マイノリティ支援全国ネットワーク 渡邊歩氏(右写真)



定20人(先着)

申6/1から、電話、FAX(講座名、住所、氏名、電話、保育希望者は子どもの氏名、年齢を記入)で、男女平等・共同参画センター(☎5721-8570、☎5721-8574)へ。保育希望者は6/10までに予約

区有施設見直し計画を改定しました

資産経営課(☎5722-9876、☎5722-6134)

区の施設は、昭和30~40年代に建てられたものが多いため、今後一斉に建て替えなどの更新時期を迎えます。区の施設の安全・安心を確保し、更新にかかる費用を抑制していくため、平成24年度から施設の見直しに取り組み、平成29年に区有施設見直し計画を策定しました。計画は原則5年ごとに改定を行うことから、令和4年1月に改定素案を公表し、意見募集や説明会などでいただいた多様な意見を踏まえ、このたび計画を改定しました。

改定のポイント

財政負担の軽減

当面人口の増加が見込まれることや、今後30年間で学校施設24校を建て替えるなどの状況を踏まえ、施設の延べ床面積縮減を進めながら、維持管理経費等のランニングコスト縮減にも焦点を当てた取り組みを進める。

公民連携を軸としたサービス展開

限られた財源の中で、施設サービスを持続可能なものとするため、行政需要に対する責任を踏まえ、民間事業者のアイデアやノウハウを生かしたサービスの向上に努める。また、財政負担の軽減を図るための公民連携をさらに推進し、民間では実施できないものを選択、集中してサービス提供を行う。

☞計画(全文)は、総合庁舎本館1階区政情報コーナー・4階資産経営課、地区サービス事務所(東部を除く)、住区センター、図書館、目黒駅行政サービス窓口ほか、区HP(コード①)でご覧になれます。

